

## ヤマブドウ植栽2年目の栽培目標

植栽2年目は、樹の骨格を形成する重要な時期であり、初期生長がよければ成木相<sup>注)</sup>に早く到達することになります。

ヤマブドウ県オリジナル品種「涼実紫」は標準で植栽後3年目から結実します。生長のよい園地では植栽後2年で結果樹齢に達することもあります。花芽の着生が確認されても伸長生長を促進することを目標とし、以下に留意して栽培管理を行いましょ。

**薬剤散布や下刈りを適期に実施する**  
**葉量を確保するため、摘心や夏期剪定はしない**  
**花芽が着生したとしても、樹冠拡大を優先させる**

### 1 はじめに

ヤマブドウ涼実紫は標準で植栽後3年目で結実しますが、現地適応化栽培試験では植栽後2年目で結実した園地もありました。そこで、平成16年に植栽した涼実紫で生長のよかった園地では結果樹齢に達することも予想されますが、植栽2年目では樹勢を保ち伸長生長を促進させることを栽培の目標としましょう。

### 2 栽培管理

2年目の栽培管理では、健全に育成するために下刈りや薬剤散布を適期に実施しましょう。また、葉量を確保するために摘心や夏期剪定は実施しません。

### 3 花芽の着生について

ヤマブドウは4月下旬には幼葉が展開してきます。結果樹齢に達していなければ葉芽が着生し、達していれば花芽が着生します。

花芽が着生した場合でも、結実させながら樹冠を拡大することを目的とするので、着果量確保よりも樹冠拡大を優先させるため、摘心や夏期剪定は実施しません。また、結実することが予想されるので、果実に被害を与える病虫害に注意しましょう。

注：成木相  
その樹の果実生産能力が最高水準まで樹冠が拡大した段階。涼実紫の標準的な栽培では5年目に成木相に達する。



葉芽（幼葉だけ展開する）



花芽（花蕾が着生する）

（担当 林業専門技術員 伊東茂敏、林産利用部 主任専門研究員 泉 憲裕）

連絡先

028-3623 岩手県紫波郡矢巾町大字煙山第3地割560番地11  
岩手県林業技術センター  
ホームページアドレス <http://www.pref.iwate.jp/~hp1017/>

TEL 019-697-1536  
FAX 019-697-1410